広報紙
わたしのおぎくぼ
2021
6月・7月
No.351
5月25日発行

発行：荻窪地域区民センター協議会　〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20　☎3398-9127　FAX 3398-9128
ホームページ　http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/
荻窪地域区民センター　杉並区荻窪2-34-20　☎3398-9125　【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所　杉並区本天沼2-12-10　☎5310-4633　【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

※新型コロナウイルス感染症対策に伴い、スケジュールが流動的です。変更する場合はホームページなどでお知らせします。

これからのスケジュール

6月
- ●9日・16日・23日・30日㊌「リズム&ストレッチ教室」講師：後藤鈴香（健康運動指導士）
- ●12日㊏・13日㊐「第43回アート展」
- ●19日㊏「野外講座「荻外荘通りを歩こう」講師：松井和男（荻窪の記憶プロジェクト）

7月
- ●10日㊏ 地域交流会「こみゅに亭カフェ」
- ●13日㊋ 広報紙「わたしのおぎくぼ」No.352　8月・9月号発行
- ●18日㊐「さいえんす縁日」

8月
- ●4日・11日・18日・25日㊌「ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング」講師：安藤 操（ヴォイストレーナー）
- ●5日・12日・19日・26日㊍「現代の短編を読む」講師：生田美秋（富山県立高志の国文学館事業部長）
- ●14日㊏「講談鑑賞会」

9月
- ●28日㊋ 広報紙「わたしのおぎくぼ」No.353　10月・11月号発行

10月
- ●10日㊐「おぎくぼセンター祭」
- ●15日㊏～11月末 ロビーにてパネル展示「荻窪の記憶Ⅳ 清水・今川・桃井の歴史」
- ●17日㊐「地域懇談会」

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て、会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先：●事業企画部　●地域交流部　●広報部　●総務部

地域の小中学校紹介 第7回

「世界に羽ばたけ子どもたち」を目指す

杉並区立西田小学校

このシリーズ第7回は、西田小学校の鈴木朝代校長先生からお話を伺いました。

★概要

西田小学校は、1942年に東京市西田国民学校として開校、来年2022年度には80周年を迎えます。学級数は22、児童数651名（2021年4月現在）。ユネスコが認定した杉並区内で唯一の「ユネスコスクール」です。

★西田小の特色

西田小は、ユネスコ憲章の理念を実現するために「平和や国際的な連携」を実践するESD（持続可能な開発のための教育）の推進拠点であり、小、中、高などの全国1120校あるユネスコスクールのなかでも、ESD重点24校の一つです。2019年秋には第10回「ESD大賞」の「小学校賞」を授賞しました。

西田小が掲げている教育目標は「気付き・考え・行動する子～地球規模で考え、足元から行動するような西田の子の養成を目指す～」です。

学習テーマは、1年生が身近な自然とふれあい学ぶ「しぜんとなかよし」、2年生が「わたしの町はっけん」、3年生が「自然とともにくらそう」、4年生が「みんなにやさしい町づくり」、5年生が「世界を見直して環境を考えよう」、そして6年生になると「世界に向けて羽ばたこう」と、高学年になるほど世界的視野を盛り込んだカリキュラムになっています。

3年生の「校内フィールドビンゴ」

4年生の「みんなにやさしい町づくり」

★大きな挑戦を掲げる

環境・貧困・人権・平和・開発など地球規模の課題を児童自身が自らの課題と捉え、課題解決に向けた価値観や行動力を生み出すことで、持続可能な社会を創造する担い手を育てる―こうした大きな挑戦を掲げているのが西田小です。2015年の国連サミットで採択された「持続可能な世界を実現するための17の目標」（SDGs）の視点を取り入れ、子供たちの価値観を広げようとしています。

未来を担う子供たちを育てるために教職員、保護者、地域住民が一体となり学校づくり、まちづくりを進めています。例えば、子供たちに、できれば世界で活躍してほしいとの思いで「西田英語村」を始めた際には、学校支援本部が協力して地域で英語が堪能な人を集め、サポーターとして送り込んでくれました。

子供たちの活動の1年間のゴールは毎年2月の最終土曜日に開かれる「ESD子供報告会」です。全学年が保護者や地域の人に対する発表の機会を毎年重ねることで、自らの成長を実感することができ、発表内容の質も年々向上しているそうです。ただ今年は残念なことにコロナ禍の影響で、多人数の集まる発表会が開催できず、ビデオ撮りに終わってしまいました。

5年生の「西田英語村」

6年生のタブレットによるプレゼン授業

★鈴木校長の思い

鈴木朝代校長は、1988年から11年間、西田小で教員を務め、3年前に杉並第一小学校の副校長から西田小の校長に赴任しました。2016年に2代前の本徳文恵校長が「ユネスコスクール」の認定を受け、引き継いだ小堂十・前校長が「気付き・考え・行動する子」の教育目標を掲げて強力に推進。それを鈴木校長が受け継ぎ、ESDで6年間学び育った卒業生を来年3月、送り出します。創立80周年記念に向けては、学校運営協議会とも連携して記念誌を今年発行して盛り上げていき、80周年式典では子供たちに司会を委ねるなど、ユネスコスクール・西田小らしいイベントを開催する予定です。

杉並区立西田小学校
住所:167-0051 東京都杉並区荻窪1-38-15　電話:03-3392-6828
ホームページ:www.suginami-school.ed.jp/nishitashou/

講座紹介

野外講座「荻外荘（てきがいそう）通りを歩こう」～「新版・荻窪の記憶」出版記念～

西郊ロッヂング、大田黒公園、荻外荘、善福寺川などをめぐり、そこに宿る荻窪の記憶を探ります。

案内役は「荻窪の記憶」プロジェクトの松井和男さんです。

★日時:6月19日（土）午前10時～12時
★定員:15名（応募者多数の場合は抽選）
★集合場所:明治天皇荻窪御小休所前の長屋門（荻窪4-30-16）

荻外荘（近衛文麿旧邸）

第17回

「荻窪の記憶」こぼればなし

階段を探して

本郷や高輪など起伏に富んだ山の手の街を歩くと、次々に坂や階段が現れ、突然、眺望が開けるなど、退屈しません。しかし、杉並区は、武蔵野台地の真ん中に位置するため起伏が少なく、23区の中でも階段の少ない区の一つです。日頃から、それをものたりなく思っていた筆者は、あらためて荻窪周辺に階段を探してみました。

「荻窪の記憶」プロジェクト　松井和男

1

2

3

4

5

6

7

1 善福寺川右岸の段丘につくられた畑と屋敷の間を通る階段（24段・成田西二丁目）
2 善福寺川の崖線に沿ってつくられた「井荻公園」の階段（18段・西荻北四丁目）
3 善福寺川右岸の段丘上につくられたゴルフ練習場と川沿いの道を結ぶ私設の階段（36段・西荻北二丁目）
4 「坂の上のけやき公園」下の小さな階段（8段・西荻北四丁目）
5 1の段丘上からの眺望。画面右上に都庁の二つの塔が小さく見える。
6 2の崖線上からの眺望。
7 沓掛小学校の校庭には妙正寺川の河岸段丘の斜面を生かして階段状のスタンドと滑り台がつくられている（清水三丁目）

令和3年度定期総会・感謝状贈呈式を実施しました

4月21日（水）、荻窪地域区民センターにおいて当協議会の令和3年度の総会が開かれました。来賓の方々をはじめ町会や商店会、地域団体の代表など、約60名が感染症対策のため2部屋に分かれて出席、茂木新会長の挨拶に続き、令和2年度の事業・決算報告と令和3年度の事業計画・予算案が承認され、新委員10名が紹介されました。

また、総会終了後の感謝状贈呈式では、出席された田中杉並区長より、任期を終えた前委員一人ひとりに感謝状・御礼状が贈呈され、ご祝辞を頂きました。

協議会の委員（◎：部長、○：副部長）

令和3年4月21日現在

役職・所属	氏　名	住　所
会長	茂木愛一郎	天　沼
副会長	萬　　靖義	荻　窪
	惠羅　　博	荻　窪
会計監事（2名）	伊藤　佳江	荻　窪
	桑山　　務	天　沼
（経理担当）総務部（3名）	◎大矢　正男	荻　窪
	○船津まさ子	宮　前
	杉原幸一郎	南荻窪
地域交流部（8名）	◎萬　　靖義	荻　窪
	影山　健次	宮　前
	杉浦　和子	荻　窪
	高橋　昭浩	荻　窪
	上田　昌子	清　水
	香取　真実	本天沼
	東海林　明	荻　窪
	若井　幸子	南荻窪
事業企画部（センターカレッジ部兼務）（6名）	◎惠羅　　博	荻　窪
	○本田　良夫	天　沼
	染谷　貞夫	天　沼
	小野美和子	南荻窪
	熊谷　伸成	宮　前
	堀川　秀夫	天　沼
広報部（3名）	◎横尾　耕一	荻　窪
	松崎茂一郎	宮　前
	西村　淳一	荻　窪
協議会の事務局員		
事務局長	吉川　英一	—
職　　員	岩井　智子	—
	鈴木喜代美	—

講座等のご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定 員	参加費	申込締切
リズム＆ストレッチ教室	音楽に合わせて全身を使って、ウォーキングなどの軽い運動やストレッチを行います。 講師:後藤鈴香(健康運動指導士)	6月9日・16日・23日・30日 各水曜日(4回) 午後1時30分～3時30分	20名	200円	5月30日(日)
野外講座「荻外荘通りを歩こう」	「大田黒公園」や「荻外荘」、「与謝野公園」など、歴史的施設のある「荻外荘」通りを歩きましょう。 集合場所:明治天皇荻窪御小休所前の長屋門(荻窪4-30-16) 案内役:松井和男(荻窪の記憶プロジェクト)	6月19日(土) 午前10時～12時	15名	200円 保険料	6月7日(月)
地域交流会「こみゅに亭カフェ」	1部「バルーンパフォーマーかなちゃんのトークショー」 2部「優しいメンタルのトーク」 (訪問看護ステーションぽると代表・阿部貴子)	7月10日(土) 午後1時～3時	35名	200円 (飲料代込み)	6月20日(日)
ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング	喉や舌の使い方、そして発音を学び、お腹を使った正しい発声を身につけると心地よい歌声になります。皆さんで美しい合唱を楽しみましょう。 講師:安藤 操(ヴォイストレーナー)	8月4日・11日・18日・25日 各水曜日(4回) 午後1時30分～3時30分	20名	200円	7月14日(水)
現代の短編を読む	新潮クレストブックの短編アンソロジーから毎回2編ずつと話題作を読み意見を交わします。 講師:生田美秋(富山県立高志の国文学館事業部長)	8月5日・12日・19日・26日 各木曜日(4回) 午後1時30分～3時30分	20名	300円	7月25日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに〈一人一枚〉 ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

イベント紹介 さいえんす緑日

日時:7月18日(日)午後1時～午後4時30分
会場:荻窪地域区民センター(全館使用)

※申込方法は上記講座案内と同じで、締め切りは7月4日(日)です。
参加費は100円。

子供たちが楽しく遊び、学ぶことができる出し物をたくさん用意してます。(下記参照)ただし、新型コロナ対策として密を避けるため、事前予約の二部入れ替え制とします。

〈1階〉
- 缶バッヂをつくろう
- 昆虫はおいしい
- 三浦織り

〈2階〉
- 化学ペン教室
- ホバークラフト体験
- 手づくりマヨネーズ
- お魚キャッチャー
- こっぱ屋さんで木工
- 入浴剤をつくろう

〈地下2階〉
- 紙ひこうき大会

受講生募集！
すぎなみ大人塾荻窪コースが始まります

「新・荻窪はっけん伝」を描こう
～荻窪を聴き歩き・知らなかったことを深めよう～

地域で活動したい、仲間をつくりたい方を応援する大人塾荻窪コース。今年度は、荻窪を聴き歩き、地域の魅力あふれる方々に出会い、今まで知らなかったことを深めながら、共に活動する仲間づくりをめざします

日程:令和3年7/17、8/21、9/18、10/16、12/4
＊いずれも土曜 13:30～16:30(全5回)
詳細:**広報すぎなみ6月1日号**をご覧ください。
＊昨年度の講座(杉並区教育委員会YouTube)➡
https://www.youtube.com/watch?v=sBJsDQwvUCg
主催:杉並区立社会教育センター

郷土博物館分館 区民参加型展示
問い合せ:☎5347-9801

西棟2階展示室

「昭和は遠くなりにけり」
～めずらしい戦前の報道写真～

戦前に新聞社や通信社が撮影し配信した「報道写真」と、それに解説文をつけ、官公庁・学校・町の掲示板に壁新聞として貼られた「写真ニュース」を紹介します。さまざまなできごとを記録し伝達する写真のなかから、本展では主に人々の穏やかな日常に注目し、昭和初年をふりかえります。

【開催期間】令和3年5月15日(土)～7月18日(日)

西棟1階展示室

「花いそさんの記憶画」
昭和20～30年代の下高井戸の生活風景

戦前より親しまれてきた生花店「花いそ」の三代目店主・芹沢政一さんが描いた、昭和20、30年代の下高井戸周辺を中心とした記憶画を展示します。当時の人々の生活の風景のほか、終戦、復興、オリンピック東京大会、高度経済成長を経て発展していった街並みの移り変わりを芹沢さんの作品から辿ります。

【開催期間】令和3年5月22日(土)～8月1日(日)

- 場　　所:杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1天沼弁天池公園内)
- 開館時間:午前9時～午後5時
- 休 館 日:毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
- 観 覧 料:無料

＊「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号:3398-9128

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の日程

6月29日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室
7月27日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。